聖霊降臨後第７主日特祷（特定 12）

永遠にいます全能の神よ、あなたは常に私たちの祈りに先立って聞き、深いいつくしみのゆえに、私たちの思いを超えて多く与えようとしておられます。どうか私たちを赦して心の恐れを除き、その恵みにあずからせてください。父と聖霊とともに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる私たちの救い主、御子イエス・キリストのいさおととりなしによってお願いいたします。　**アーメン**

旧約聖書　創世記１８章２０－３２節

18:20　そして主は言われた。「ソドムとゴモラの叫びは実に大きく、その罪は極めて重い。21　さあ、私は降って行って、私に届いた叫びのとおり、彼らが確かに行っているのかどうか見て確かめよう。」22　その人たちはそこからソドムの方へ向かって行った。しかしアブラハムはなお主の前に立っていた。23　アブラハムは進み出て言った。「あなたは本当に、正しい者を悪い者と共に滅ぼされるのですか。24　もしかすると、あの町の中には正しい人が五十人いるかもしれません。その中に五十人の正しい人がいても、その町を赦さず、本当に滅ぼされるのでしょうか。25　正しい者を悪い者と共に殺し、正しい者と悪い者が同じような目に遭うなどということは、決してありえません。全地を裁かれる方が公正な裁きを行わないことなど、決してありえません。」26　主は言われた。「もしソドムの町の中に五十人の正しい者がいるなら、その者のために、その町全体を赦すことにしよう。」27　アブラハムは答えた。「塵や灰にすぎない私ですが、あえてわが主に申し上げます。28　もしかすると、五十人の正しい者に五人足りないかもしれません。それでもあなたはその五人のために、町全体を滅ぼされるのでしょうか。」すると主は言われた。「もしそこに四十五人いるとすれば、私は滅ぼしはしない。」29　彼はなおも重ねて主に語りかけて言った。「もしかすると、そこには四十人しかいないかもしれません。」すると主は答えられた。「その四十人のために、私は何もしない。」30　彼は言った。「わが主よ、こう申し上げてもどうかお怒りになりませんように。もしかすると、そこには三十人しかいないかもしれません。」すると主は答えられた。「もしそこに三十人いるなら、私は何もしない。」31　彼は言った。「あえてわが主に申し上げます。もしかすると、そこには二十人しかいないかもしれません。」すると主は答えられた。「その二十人のために、私は滅ぼしはしない。」32　彼は言った。「わが主よ、もう一度だけ申し上げても、どうかお怒りになりませんように。もしかすると、そこには十人しかいないかもしれません。」すると主は答えられた。「その十人のために、私は滅ぼしはしない。」

詩　編　第１３８編

1　私は心を尽くしてあなたに感謝し‖　神の前で、あなたをほめ歌う
2　聖なる宮に向かってひれ伏し、あなたの慈しみとまことのゆえに御名に感謝を献げる‖　あなたはすべてにまさって御名と仰せを大いなるものとされた
3　私が呼び求めた日に答えてくださった‖　あなたは私の魂を力づけてくださる
4　主よ、地上の王は皆、あなたに感謝を献げる‖　あなたの口から出る仰せを彼らは聞いた
5　主の道について彼らは歌う‖　「主の栄光は大きい」と
6　主は高くおられ、低くされた者を顧みる‖　遠くから、高慢な者を見抜かれる
7　たとえ私が苦難の中を歩んでいても、あなたは私を生かし‖　手を伸ばして敵の怒りを防ぎ、右の手で私を救ってくださる
8　主は私のためにすべてを成し遂げてくださる‖　主よ、あなたの慈しみはとこしえに。御手の業を止めないでください

使徒書　コロサイの信徒への手紙２章６－１５《１６－１９》節

2:6　あなたがたは、このように、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストにあって歩みなさい。7　キリストの内に根を下ろし、その上に建てられ、教えられたとおり信仰によって強められ、溢れるばかりに感謝しなさい。8　空しいだまし事の哲学によって、人のとりこにされないように気をつけなさい。それは、人間の言い伝えに基づくもの、この世のもろもろの霊力に基づくものであり、キリストに基づくものではありません。9　キリストの内には、満ち溢れる神性がことごとく、見える形をとって宿っており、10あなたがたは、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威の頭です。11　あなたがたはキリストにあって、手によらない割礼を受けました。それは肉の体を脱ぎ捨てること、すなわち、キリストの割礼です。12　あなたがたは、洗礼(バプテスマ)によってキリストと共に葬られ、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられたのです。13　あなたがたは過ちによって、また肉に割礼を受けずに死んでいた者でした。神は、そのようなあなたがたをキリストと共に生かし、私たちのすべての過ちを赦してくださいました。14　数々の規則によって私たちを訴えて不利に陥れていた借用書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださったのです。15　こうして、神はもろもろの支配と権威の武装を解除し、キリストにあって彼らを勝利の行進に従えて、公然とさらしものになさいました。

《16　だから、あなたがたは食べ物や飲み物のことで、あるいは祭りや新月や安息日のことで、誰にも批評されてはなりません。17　これらは、来るべきものの影であり、実体はキリストにあります。18　あなたがたは、自分を卑下したり、天使を礼拝したりする者から、不利な判断を下されてはなりません。彼らは、幻で見たことを頼りとし、肉の思いによっていたずらに誇っているだけで、19　頭であるキリストにしっかりと付くことをし

ません。この頭が基になり、体全体は節と節、筋と筋によって支えられ、結び合わされ、神に育てられて成長してゆくのです。》

福音書　ルカによる福音書１１章１－１３節

11:1　イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください」と言った。2　そこで、イエスは言われた。「祈るときには、こう言いなさい。

『父よ、御名が聖とされますように。御国が来ますように。3　私たちに日ごとの糧を毎日お与えください。4　私たちの罪をお赦しください。私たちも自分に負い目のある人を皆赦しますから。私たちを試みに遭わせないでください。』」

5　また、弟子たちに言われた。「あなたがたのうちの誰かに友達がいて、真夜中にその人のところに行き、次のように言ったとしよう。『友よ、パンを三つ貸してください。6　友達が旅をして私のところに着いたのだが、何も出すものがないのです。』7　すると、その人は家の中から答えるに違いない。『面倒をかけないでくれ。もう戸は閉めたし、子どもたちも一緒に寝ている。起きて何かあげることなどできない。』8　しかし、言っておく。友達だからということで起きて与えてはくれないが、執拗に頼めば、起きて来て必要なものを与えてくれるだろう。9　そこで、私は言っておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。叩きなさい。そうすれば、開かれる。10　誰でも求める者は受け、探す者は見つけ、叩く者には開かれる。11　あなたがたの中に、魚を欲しがる子どもに、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。12　また、卵を欲しがるのに、さそりを与える父親がいるだろうか。13　このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子どもには良い物を与えることを知っている。まして天の父は、求める者に聖霊を与えてくださる。」